

関西大学嵐山インフォメーションデスク

#インバウンド
#道案内
#観光案内



嵐山保勝会事務所前に設置しているデスク

DATA

- **主な連携先・メンバー**
嵐山商店街会長 石川恵介氏／嵯峨商店街会長 加藤就一氏
- **活動地域**
京都府京都市の京福電鉄嵐山駅前 嵐山商店街の通りの一角 (嵐山保勝会事務所前)
- **活動期間**
2023年6月～継続中
- **活動資金**
地域連携活動に対する補助事業

目的

嵯峨嵐山地区で激増する訪日観光客に学生が道案内や簡単な観光案内といった異文化交流を行うことにより、地域のPRや商店街の活性化に貢献することを目的としている。

活動内容

京福電鉄嵐山駅前の嵐山保勝会事務所前の歩道に、テーブルと椅子を設置し、学生2～3名がデスクに立ち寄り観光客の道案内をしたり、商店や飲食店に関する質問に答えている。当初、対応言語は英語のみであったが8月からは中国語専攻の学生による案内も加わった。口頭で説明するだけでなく、商店街から支給されている観光地図を配布したり、必要に応じて短い距離の場合は同行もしている。また、分からないことに対しては、その場で調べて回答してい



示された携帯電話の地図を確認

連携にいたる経緯

2022年春より、京都市内の商店で機械翻訳機の利用と言語のトラブルの有無を調査したところ、「言語に堪能な人の仲介」がもっとも望ましいとの報告が複数あった。本学の外国語学部の学生であれば、その要望に応えることができると考えデスクの開設に至った。

る。新たに出た質問はその都度エクセルに記録し、活動を行う学生全員で共有している。また月に1回程度ミーティングを行い、活動を円滑に進めるためにリーダーや会計担当から連絡事項を伝達したり、お互いの経験を共有したり感想を述べあったりしている。イラストを得意とする学生が、活動のポスター作成に加え、現在、周辺の商店が詳しく記されているイラストマップを作成している。

ポスターはイラストが趣味の学生によるもの



必要に応じて地図を配付

活動の成果

- ≫ 学生の異文化交流：異文化に興味のある学生が、異文化交流の機会を得ることができた。
- ≫ 学生の学び：リーダーや会計係などの役割を通して組織の運営の仕方を学ぶことができた。
- ≫ 地域との交流：商店街のInstagramに紹介され、商店街のPRに資することができた。

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 参加する学生数を増やし、デスク設営の頻度を高め、地域での認知度を高めること。
- ≫ 竹林以外の観光の魅力を紹介できるように、ウォーキングツアーを実施すること。
- ≫ 2年次の留学から帰国した学生の多くが本活動に興味を持っているため、展開の可能性はある。

連携先からの一言

嵐山商店街にはたくさんの外国人観光客が訪れるようになり、名所や嵐山から金閣寺へ等のバスを乗り継ぐ様な難易度の高い案内もKAIDの皆さんにニコニコと丁寧に対応いただいて、地域としても本当に感謝しております。

(嵐山商店街会長 石川恵介氏)

外国語学部 教授 高橋 絹子 Takahashi Kinuko



専門は応用言語学(通訳研究)。通訳者として20年間活動した後大学院へ。外務省招客のアテンド通訳として観光通訳も経験。趣味は中学から続ける裏千家茶道(高橋宗絹)と、3年前に始めた楽器演奏。

